

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
高知県	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	総合的な探究の時間や地域との連携に関わる準備・調整、また、放課後学習や部活動指導等により教職員の時間外勤務が常態化している。	・地域学校協働活動推進員を県立高等学校9校に17名配置し、総合的な探究の時間を中心に地域との連携を図っている。 ・放課後学習支援員及び部活動支援員を活用することで、教職員の負担軽減につなげている。	・地域学校協働活動推進員等を各校2名以上配置し、総合的な探究の時間を中心に地域との連絡調整を行うことで、教職員の業務負担を軽減する。 ・放課後学習支援員及び部活動支援員の活用により、教職員の業務負担を軽減する。	教職員の業務負担が軽減され、時間外勤務を行う教職員数が減少する。	時間外在校等時間が月45時間以内の教員の割合(R6.4~R7.3)	65	%	70		
	①学校運営上の課題	その他	本県では、令和6年度に全ての小学校・中学校・義務教育学校(分校と県立中学校除く)にコミュニティ・スクールと地域学校協働本部が導入・設置済みとなり、一体的推進を図っていく上で環境は整った。今後は質の向上を目指し、学校運営協議会で、子どもの課題について協議し、課題の改善や解決に向けた地域学校協働活動を地域学校協働本部が展開できるように支援していく必要がある。	・コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の設置促進に向け、市町村や学校等への支援を強化。 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と協働活動の充実に向け、地域学校協働活動に係る研修会を6回(全体研修1回・ブロック別研修2回・コーディネーター研修3回)実施し、関係者の理解促進を図った。	・学校教育課(CS担当)と生涯学習課(協働本部担当)が連携し、市町村訪問等を通して、一体的推進に向けた各市町村への支援を継続する。 ・研修会を年間4回実施し、子どもの課題解決につながる事例の紹介や推進員間の情報共有を図ることで、自校の取組に生かせるよう働きかける。	各市町村や学校において子どもの課題解決につながる、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進体制が構築される。	子どもの課題解決に取り組み、改善・解決した学校の割合(R6新規取組)	89	%	93		
	③学校と家庭の課題	その他	本県のコミュニティ・スクール導入数は小・中学校で100%になっているが、質の向上が課題である。	本県のコミュニティ・スクール導入が小・中学校で100%になるよう、各教育事務所等と連携を図り、推進した。	各市町村の教育委員会に、「地域とともにある学校づくり」推進に向けての取組シートを作成してもらうことで、各教育委員会における「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」についての現状を把握し、県教育委員会としてできる伴走支援を行う。	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の一体的な取組によって学校と地域や保護者の相互理解が深まったと回答した小・中学校の割合	学校と地域や保護者の相互理解が深まったと回答した小・中学校の割合 【令和5年度を基準値として令和7年度の目標値を設定(R5 小学校38.0% 中学校28.6%)】	小 50.3 中 37.8	%	小 44.0 中 34.3		